

こむねび

第 5 2 号

理事長からのメッセージ

今年、元旦に発生した能登半島沖地震は、マグニチュード7.6、最大震度7を記録しました。

そして、当該地震により約400人が亡くなり、今もなお350人以上が避難生活を続けています。

当法人としても、今年3月、職員が瓦礫処理のボランティアに1泊2日で参加させて頂き、被害の甚大さを身をもって体感するとともに、法人の防災対策や種々のマニュアルを現実に即して見直しているところであります。

当施設が締結している近隣自治会との津波協定や市との避難確保計画、福祉避難所としての受入れ想定、又昨年度に完成させたBCP（業務継続計画）策定も、いざ発災時に有効に運用できなくては意味をなしません。

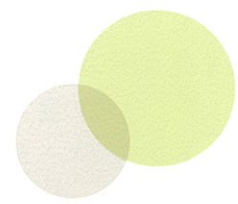
大地震に限らず、気候変動に伴う豪雨等を含め、日頃から備えなければいけない自然災害は増えています。

「想定外」という言葉は禁句であり、今後充分な準備を行っていきたいと考えています。

理事長 大屋敷 幸志

畑仕事でご高齢者の社会参加を

鶴嶺西地区包括支援センターみどりと小出地区地域包括支援センターわかばでは、地域住民の皆様と一緒に畑づくりを始めました。高齢者の社会参加は老人福祉法や高齢社会対策大綱でも、社会的に取り組むべき課題として掲げられています。元気なご高齢者であれば、就労やボランティア活動、自治会等の地域活動や趣味活動等多様なシニアライフが実現できる時代になってきています。ただ、ご高齢の方などはだんだんと外出頻度や外出範囲が狭まってきます。これまで行っていた活動が身体的な理由や経済的な理由など様々な理由で困難になることもあります。そういった方々が住まいのすぐ近くで、気軽に参加できる活動として畑仕事を社会参加のプログラムとして地域包括支援センターで取り組み始めました。実際に今年は地域住民の皆様の協力で畑に野菜を植え、普段外出機会が少ない地域のご高齢者へ声掛けさせていただき、育った野菜の収穫を行いました。収穫した野菜は参加者で分けて持ち帰ってもらったり、皆様作業しながら笑顔で和気あいあいとした収穫体験となりました。今後も、地域のご高齢者の健康や生きがい等の支援の一環として、多様な社会参加の機会を持つよう、様々な取り組みをして参りたいと思います。



みどりファームの玉ねぎの苗植えと収穫



わかばファームのさつまいもの栽培



2024
12.1

No.
52

1	理事長からのメッセージ	1	畑仕事でご高齢者の社会参加を				
2	ふれあいの麗寿	2	ふれあいの泉	3	ふれあいの森	3	ふれあいの里
4	元町ケアセンター	4	ふれあいの家みのり				
5	鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり	5	茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず				
6	小出地区地域包括支援センターわかば	6	鎌倉市大船地区地域包括支援センターふれあいの泉				
7	令和5年度経営状況の報告	8	ホームページ、リニューアルいたしました	8	編集後記		

ふれあいの麗寿

ふれあいの麗寿からの近況報告です。

今年度はコロナ禍からの脱却を目指して、外出等のイベントを再開しました。ご入居者のご希望を伺いながら、近隣へのお花見や新江ノ島水族館、ショッピングセンター等に出掛けています。毎回、ご入居者の施設内では見ることのできない言動が印象的です。職員達も次の楽しみの提供を考えながらご入居者と日々関わっております。

また、この6月、新たに居宅介護支援事業所を開所しました。ケアマネジャーが仲間入りしたことで、これまで以上に近隣地域にも目を向けて情報を発信することで、少しでも地域の皆様のお役に立てればと思いつつスタートしています。引続き、宜しくお願い致します。



ふれあいの泉

開設以来17年、地域と共に歩む施設作りを目指し取り組んできました。

高齢化が進んだ地域へ、“施設車両を住民の足に”と始めた「地域貢献送迎買い物支援バス事業」も6年目を迎え、週2回運行も地域の方より感謝され定着しています。又、地域のNPO団体・地域包括・ふれあいの泉で連携し、施設の1F「地域交流スペース」を活用し、地域の方々が「寄り道」できる、交流の場を月に1回開催する予定で準備をしています。

地元自治会の盆踊り大会に、今年も出店し焼きそばを販売しました。ご利用者やご家族も参加をされられました。施設の庭での花火大会や敬老会等節目の行事もご家族参加のもと盛大に行われました。秋祭りや職員によるレクリエーション、地元の獅子舞等ボランティアの方々もお越し頂き、利用者のQOL向上に努めています。

施設内全床に「眠りスキャン」を導入し介護ソフトと連携し、睡眠・心拍・呼吸データお一人お一人が把握でき、ご本人に合わせたケアが実践されています。今後も、ご利用者に寄り添ったケアに取り組んでいきます。



ふれあいの森

【敬老の日を迎えて】

敬老の日を迎えるこの季節、私たちふれあいの森では、ご入居者の皆様に特別な思い出をお届けしたいと願っています。長い人生の中で培われた知恵と経験、そして喜びを共有することができる素晴らしい機会です。私たちは、皆様の生きた証であるお話や、大切な思い出を伺い、それを大切に保管し、後世に伝えていくお手伝いをさせていただきます。

私たちスタッフ一同、これからも安心して快適に過ごしていただけるよう、日々努めて参ります。介護のプロフェッショナルとして、皆様の笑顔と安心を支えることが私たちの喜びであり使命です。心温まる敬老の日を、皆様とともにお祝いできたこと、心より感謝いたします。



ふれあいの里

「いつまでも自分らしく暮らしたい、
みんなで取組む健康づくり」

ふれあいの里では、約2年前より、体力維持・向上の為、下肢筋力トレーニングを中心とした『30分体操 (Vol.1)』に毎日 (月～土) 取組んでいます。今回、高齢者の体力づくりやレクリエーション等の普及活動に長年携わられている余暇問題研究所の山崎律子先生に、入居者体力測定結果を検証頂き、下肢筋力の低下に加え上肢(握力)の筋力低下でも日常生活に支障が出る方々が増加すること、そこで「セラバンド」を活用し上肢筋力トレーニング要素を盛り込んだ運動(『30分体操 (Vol.2)』)の導入をとというアドバイスを頂きました。入居者の皆様が健康で長く生き生きと暮らして頂くことを目標に、これからも無理なく、楽しみながら、「継続は力なりの精神」で、ふれあいの里全体で「健康づくり」に取り組んで参ります。



元町ケアセンター

元町ケアセンター、デイサービスでは今年も「夏まつり」「敬老の日」にご利用者様と一緒に祝い、イベントを行いました。お祭りでは射的、お手製モグラ叩き、お菓子釣り…大きな歓声が聴こえました。綿菓子を手にされ「懐かしい」とのお言葉も…。

敬老の日には皆様の長寿を祝う会として祝膳をご用意させて頂きました。松花堂弁当の器に盛り付け目にも嬉しい献立となりました。

訪問介護事業、居宅介護支援事業も今年も暑い日々でしたが汗をかきながら、お一人お一人の支援に奔走し頑張っています。今後も活気溢れるデイサービス、そして訪問介護、居宅介護支援はご自宅で生活している皆様へ丁寧な支援を心がけ邁進して参ります。



ふれあいの家みのり

ふれあいの家みのりでは、「家」とは何かを職員で話し合い施設での生活ではなく、私達が普段生活している姿と同じを目指して、一人ひとりが出来る事を見つけ日々ご利用者様のお手伝いをさせて頂いています。

9月の敬老の日には、ご利用者の皆様に日頃の感謝を込め、昼食はバーベキューを行いました。準備の途中から雨に降られてしまい外でのお食事とはいきませんでしたが、焼き鳥や焼きそば、ジュースにノンアルコールビールと皆さんとても美味しそうに召し上がられていました。午後には、皆さんに笑ってほしいという思いから職員からの出し物を披露させて頂き、大きな笑い声や拍手をいただき職員もご利用者様と楽しい1日過ごすことができました。



鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

金曜サロン夏祭り

令和6年8月9日に、鶴嶺西コミセンで毎週金曜日に行われている地区社会福祉協議会主催の「金曜サロン」と「鶴嶺西コミセン」と共催で夏祭りを開催しました。今年で2回目の開催になりますが、当日は300人以上の地域の皆様にご来場いただきました。

包括支援センターみどりでは、かき氷と綿菓子を振る舞いたくさんの方に召し上がっていただき大変盛り上がりました。ご来場、ご協力くださった皆様ありがとうございました。



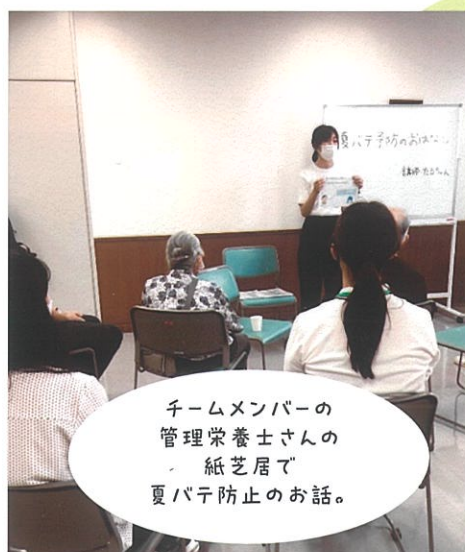
茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆずでは、認知症になっても地域で安心して暮らし続ける取り組みとして、チームオレンジ「笑って楽しもうかい」を月1回第3木曜日に開催しています。認知症当事者とご家族の地域参加の場であり、認知症サポーターの住民の皆様のご活躍の場でもあります。誰もがフラットな関係で楽しもうという思いが会の名前の由来です。ストレッチや手話ダンス、習字教室等、楽しいプログラムを毎回ご用意しております。

次年度は当事者の方にも一緒に企画・運営に参加していただこうと構想中です。地域の団体も自由に入出りできるプラットフォームとして活動を広げ、「物忘れがあってもいいじゃない!」と言い合えるまちづくりを目指していきたいと思っております。



「上を向いて歩こう」の手話歌にチャレンジ!



チームメンバーの管理栄養士さんの紙芝居で夏バテ防止のお話。

● 小出地区地域包括支援センターわかば

- 7月末には、包括あかねさんとの合同のケアマネジャー向け勉強会として、「障がい&高齢、垣根を超えた連携づくり」～湘北・小出地区の障がい事業所を知ろう～を開催しました。両包括の強みを活かした良い企画となり、好評でした。

- 小出地区のチームオレンジメンバーは、2023年に発足し、チーム名を『チームオレンジ・スマイル😊』として、19名の登録メンバーで活動しています。現在は、認知症の方を介護しているご家族の交流会を定期的で開催し、頼もしいメンバーが、ご家族のお悩みに、積極的に助言をして下さっています。次回11月20日(水)は、ライフ湘南(就労移行支援事業、就労継続支援B型事業)の喫茶店で、カフェ風で開催することになりました。



● 鎌倉市大船地区地域包括支援センターふれあいの泉

自然災害に向けた取り組み と 世界アルツハイマーデー

地域包括支援センターふれあいの泉では、自然災害の準備に向けた取り組みとして、地域住民の皆様と一緒に研修及び訓練を実施しました。日ごろの備えとして、2週間程度の食料や水・買い替え(ローリングストック)は大切ですが、2次被害を予防する上でも歯ブラシ、簡易トイレの準備も非常に重要である為、演習として簡易トイレの設置を訓練としました。

また9月はアルツハイマー月間でしたので、認知症の理解を普及啓発する意味で、今泉小学校の1年生にもテーマキャラクターであるロバ隊長の塗り絵をお願いできました。施設周辺に60枚ほどの掲示となり、気に留めて頂けた方もおられましたので、支え合う街づくりのきっかけとなれば幸いです。



令和5年度経営状況の報告

法人単位 資金収支計算書

第1号第1様式

法人名：社会福祉法人 麗寿会

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	1,947,709,000	1,952,864,521	△ 5,155,521	
老人福祉事業収入	80,563,000	86,952,746	△ 6,389,746	
借入金利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄附金収入	130,000	130,000	0	
受取利息配当金収入	0	4,796	△ 4,796	
その他の収入	10,055,000	12,339,388	△ 2,284,388	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	2,038,457,000	2,052,291,451	△ 13,834,451	
支出				
人件費支出	1,315,638,000	1,320,178,972	△ 4,540,972	
事業費支出	280,435,000	271,557,891	8,877,109	
事務費支出	312,466,000	309,904,129	2,561,871	
利用者負担軽減額	615,000	757,959	△ 142,959	
支払利息支出	6,940,000	6,938,247	1,753	
その他の支出	624,000	558,285	65,715	
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
事業活動支出計(2)	1,916,718,000	1,909,895,483	6,822,517	
事業活動資金収支差額(3=1-2)	121,739,000	142,395,968	△ 20,656,968	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等補助金収入	0	0	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設整備等による収入	10,000	10,000	0	
施設整備等収入計(4)	10,000	10,000	0	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	65,958,000	65,958,000	0	
固定資産取得支出	1,548,000	2,912,313	△ 1,364,313	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,572,000	1,520,208	51,792	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	69,078,000	70,390,521	△ 1,312,521	
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 69,068,000	△ 70,380,521	1,312,521	
その他の活動による収支				
収入				
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入*	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	
長期貸付金回収収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
積立資産取崩収入	17,193,000	20,950,330	△ 3,757,330	
その他の活動による収入	14,340,000	16,740,000	△ 2,400,000	
その他の活動収入計(7)	31,533,000	37,690,330	△ 6,157,330	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
積立資産支出	23,561,000	27,776,600	△ 4,215,600	
その他の活動による支出	23,901,000	29,214,250	△ 5,313,250	
その他の活動支出計(8)	47,462,000	56,990,850	△ 9,528,850	
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 15,929,000	19,300,520	3,371,520	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	36,742,000	52,714,927	△ 15,972,927	
前期末支払資金残高(12)	0	566,279,529	△ 566,279,529	
当期末支払資金残高(11+12)	36,742,000	618,994,456	△ 582,252,456	

ホームページ、リニューアルいたしました

麗寿会では、ホームページの採用情報ページをリニューアルいたしました。現在のホームページを作成したのが7年前。昨今のSNSやインターネットが主流となった情報化社会において、より一層当法人の取り組みや魅力を広く皆様にお伝えし、ともに働く仲間になっていただきたいとの思いで、この度のリニューアルに至りました。

広報の目的は“理解をしてもらうこと”、そして“人の心を変えること”“人を動かすこと”であると考えます。業界全体として依然慢性的な人手不足が続く中、どうすれば興味をもってもらえるのか、福祉に興味がなかった人でも働いてみたいと思ってもらえるか、法人本部事務局が中心となり、約1年にわたってデザインや各ページの構成、コンテンツの内容を検討し、ようやく完成にこぎつけることができました。

コンテンツの中には、できるだけ当法人のリアルをお伝えできるよう、現職員へのインタビューを多く取り入れております。また、麗寿会のイメージを捉えていただけるように動画もご覧になっていただけます。ひとりでも多くの方に当法人のことを理解していただき、一緒に働く仲間になることができれば嬉しい限りです。

その他にも多数法人の情報を掲載しておりますので「麗寿会 採用情報」と検索の上でぜひご覧になってみてください。



編集後記

上記採用HPリニューアルは新卒者を念頭にしたものだが、求人の応募減少は年々体感するものがある。

今年20歳を迎える人口(2004年生まれ)は、111万人であり、当法人の職員平均年齢50歳の年代が約200万人に対し、60パーセント弱である。

又最近読んだ本「縮んで勝つ〜人口減少日本の活路」によれば、現状の出生数減少ペース(△4.54%)が続くと、2030年には52万人、2050年には20万人になることが確実視されています。

今後、少ない応募者に自社をどうアピールするか・・・？

如何に働きやすい、魅力的な職場にしていけるか、働きがいを持ち、他人にも誇れる職場を構築するか・・・。

今一度、全職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

法人事務長 鳥羽 芳弘



社会福祉法人麗寿会では、行事やイベント、各施設の取り組み等を『facebook』にて随時公開しております。麗寿会WEBページからのリンク、もしくは本誌QRコードからアクセスできますので、ぜひご覧いただければと存じます。